

地 波乗りレモン記念植樹&地元の果実を味わう新スイーツ誕生 元の農産物で、まちを元気に！



1レモン苗を植樹する市長と波乗りレモン部会会長 2参加者で記念撮影
3波乗りレモン 4開発された「菊川いちじくパナコッタ」(左)と「菊川レモンプリン」(右) 5関係者で新メニューを試食 6生産者と開発者と共に記念撮影

波乗りレモン記念植樹

市と業務契約を結ぶシンコムアグリテック株式会社は、耕作放棄農地の有効活用と環境に優しい農業に取り組んでいます。荒廃茶園の茶樹をバイオ炭として再利用。レモンへの栽培転換を進めています。牧之原市でブランド化が進む「波乗りレモン」として新たな農業収益の創出を目指すもの。10月8日には、波乗りレモン部会など関係者およそ20人が、倉沢地区の荒廃茶園で、レモン苗20本を植樹しました。

地元の果実を味わう新スイーツ誕生

市と農業DX推進に向けた連携協定を結ぶ株式会社エムスクエア・ラボの関連会社「やさいバス食堂株式会社」が、市農産物であるいちじく(品種:榊井ドーフィン)とレモン(品種:璃の香)を使った新メニューを開発。素材の味を生かしたスイーツに仕上がりました。11月下旬まで同社が運営する「やさいバス食堂(掛川市)」で販売されます。

手 菊川市手話言語に関する条例のつどい 話への理解を深めよう

「手話言語の国際デー」・「手話の日」である9月23日、プラザけやきで「第7回菊川市手話言語に関する条例のつどい」が行われました。多くの人に手話を身近に感じてもらうと、手話カルタや身振り当てゲームなど、手話に親しむことができる体験を企画。子どもから大人まで楽しみながら手話を学んでいました。辺りが暗くなると、手話言語国際デーに合わせ全国各地で行われる「ブルーライトアップ」を市でも実施しました。改めて「手話は言語である」という想いを一つにしました。



1楽しみながら手話を学ぶ 2プラザけやきをライトアップ

学 岳洋学舎で小中学校合同理科授業 びでつながる新しい授業

9月19日、岳洋中学校で、同校1年生32人と小笠南小学校6年生22人による合同授業が行われました。小中学校間の交流や学力の向上を目的に、初開催。授業では2時間を通して、中学校の理科教諭から顕微鏡を使った微生物の観察方法を学びました。実験では、小学生が微生物の入ったプレパラートを顕微鏡にセットし、中学生が、観察のコツを伝えながら隣で見守りました。観察後には、小学生と中学生が協力して考察結果をまとめ、理解を深めました。



1真剣な眼差しで取り組む 2先輩がしっかりサポート！